

研究課題：鼠径ヘルニアの超音波所見についての後ろ向き研究

1. 研究の目的： 鼠径ヘルニア患児の症状に関連する超音波画像所見について検討する。これによって、鼠径ヘルニアの鑑別診断、同じ疾患のなかでもより重篤になりうる画像所見を明らかにします。
2. 研究の概要： 鼠径ヘルニアは小児でよく見る疾患の一つです。症状としては、鼠径部の膨隆のみを認めるものから、腸閉塞から腸管壊死にいたる可能性のある危険な症状まで様々であります。現在まで、診断には、身体所見のほか、超音波が有用であることが報告されています。この様々な症状に対応する超音波所見を明らかにすることによって、鼠径ヘルニアの診断と、同じ疾患のなかでもより重篤になりうる状態かどうかを、より容易に診断できるようになると考えられます。
3. 研究の方法
研究期間は 2004 年 1 月から 2020 年 1 月までに、鼠径ヘルニアが疑われ診断加療のために単純レントゲン、超音波検査が行われた患者様を対象とします。検査時期、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。
4. 研究期間
2020 年 4 月から 2020 年 9 月までの 6 ヶ月間で、カルテを調べ、結果をまとめます。
5. 研究に用いる資料・情報の種類
鼠径ヘルニアの診断加療の検査のため撮影された患者様の検査時とその後の経過を、画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。
6. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表
この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。
7. 研究組織
研究分担医師：細川 崇洋

研究施設名：埼玉県立小児医療センター 放射線科
連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2
電話：048-601-2200

8. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先
研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年5月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）